

SGI™ 1450 サーバ 設置手順

ドキュメント No. 007-4242-001JPN

表紙デザイン Sarah Bolles (Sarah Bolles Design)、Dany Galgani (SGI Technical Publications)

© 2000, Silicon Graphics, Inc. — All Rights Reserved

Silicon Graphics, Inc から事前に書面による許諾なしに、いかなる形式においても、本書の一部または全部を複写または複製することは禁じられています。

本装置は、FCC規格のパート15に従いクラスAデジタルデバイスの規制に準拠していることがテストで証明されています。本装置は、高周波エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があるため、取扱説明書に従って設置および使用されない場合は、無線通信に有害な干渉を与えることがあります。

LIMITED AND RESTRICTED RIGHTS LEGEND

Use, duplication, or disclosure by the Government is subject to restrictions as set forth in the Rights in Data clause at FAR 52.227-14 and/or in similar or successor clauses in the FAR, or in the DOD, DOE, or NASA FAR Supplements. Unpublished rights reserved under the Copyright Laws of the United States. Contractor/manufacturer is Silicon Graphics, Inc., 1600 Amphitheatre Pkwy., Mountain View, CA 94043-1351 USA.

Silicon Silicon Graphics は登録商標であり、SGI および SGI のロゴは Silicon Graphics, Inc. の商標です。

改訂情報

バージョン	説明
001	2000年6月 初版

目次

梱包を解いて中身を確認する	2
設置に必要な空間を確保する	2
安全に設置するための注意事項	3
スライドレールキットを確認する	4
スライドアセンブリを準備する	7
サーバを準備する.....	7
EIA レールブラケットを取り付ける	8
前面側のブラケットを取り付ける	9
背面側のブラケットを取り付ける	11
スライドアセンブリをラックに取り付ける.....	13
本体をラックに設置する.....	14
ハンドルを取り付ける.....	14
フロントベゼルを本体に取り付ける	15
ラックからサーバを取り外す	15

図一覧

図 1	完全に伸ばした状態のスライドアセンブリ.....	5
図 2	安全ラッチ	6
図 3	本体に取り付けられた内メンバ	8
図 4	FL/RR ブラケットの方向.....	9
図 5	ネジ、座金、ナット、ブラケット、スライドアセンブリの 正しい合わせ方 (FL/RR)	10
図 6	FR/RL ブラケットの向き	11
図 7	ネジ、座金、ナット、ブラケット、スライドアセンブリの 正しい合わせ方 (FR/RL)	12
図 8	ラックの穴とスライドアセンブリの合わせ方.....	13
図 9	本体とハンドルの位置合わせ	14

表一覧

表 1	SGI 1450 サーバの物理的仕様	2
-----	--------------------------	---

SGI 1450 サーバ設置手順

このガイドでは、SGI 1450 サーバを 19 インチラックに設置する手順を説明します。

World Wide Web を使用して SGI の資料を入手する場合は、<http://techpubs.sgi.com> の SGI Technical Publications Library で調べます。キーワードで検索するか、タイトルで検索して、必要な情報またはマニュアルを見つけてください。



警告：梱包を解く際のけがを防ぐため、輸送用パレットからサーバを持ち上げるには、必ず補助機器を使用してください。最小構成のサーバの重量は 26 kg (57 lbs)、最大構成のサーバの重量は 40 kg (88 lbs) です。電源装置のハンドルを持ってサーバを持ち上げたり動かしたりしないでください。サーバを別の場所に移動するときには、必ず手押し車またはその他の補助機器を使用してください。

このガイドの内容は次のとおりです。

- 梱包を解いて中身を確認する
- 設置に必要な空間を確保する
- 安全に設置するための注意事項
- スライドレールキットを確認する
- スライドアセンブリを準備する
- サーバを準備する
- EIA レールブラケットを取り付ける
- スライドアセンブリをラックに取り付ける
- 本体をラックに設置する
- ハンドルを取り付ける
- フロントベゼルを本体に取り付ける
- ラックからサーバを取り外す

梱包を解いて中身を確認する

サーバを箱から取り出し、すべての付属品が揃っているかどうか確認します。輸送中の不適切な取り扱いによって箱の外側に傷が付いていないか調べます。箱が損傷している場合は、証拠写真を撮ります。損傷している箱と梱包材は、箱から中身を取り出した後も保管しておきます。

サーバと付属品が損傷していないかどうか調べます。中身が損傷しているように見える場合は、すぐに運送業者に連絡します。

設置に必要な空間を確保する

SGI 1450 サーバは、標準の19インチラックに搭載する（ラック型）か、垂直に立てて使用する（ペDESTアル型）ように設計されています。

次の表に、SGI 1450 サーバシステムをラック型で使用する場合のハードウェア仕様を示します。

表 1 SGI 1450 サーバの物理的仕様

仕様	ラック型
高さ	4ユニット (17.78 cm)
幅	44.5 cm (17.5 インチ)
奥行き	67.3 cm (26.5 インチ)
重量	最小構成：26 kg (57 lbs) 最大構成：40 kg (88 lbs)
前面に必要な隙間	7.62 cm (3 インチ) (吸気の温度最高 35 °C)
背面に必要な隙間	15.24 cm (6 インチ) (通気を妨げる障害物のないこと)
側面に必要な隙間	2.54 cm (1 インチ)

安全に設置するための注意事項

設置作業を進める前に、次の警告および注意をお読みください。



警告：ラックユニット全体の AC 電源を切断するための遮断器が必要です。この主電源遮断器をすぐに手の届く場所に取り付けるとともに、サーバだけでなくユニット全体の電源を制御していることがわかるようにラベルを付けてください。



警告：ラックに設置する場合、感電を防止するため、第 3 のアース線を接続しなければなりません。サーバの電源コードをラック内の AC コンセントに差し込む場合は、ラック自体に適切な接地を施す必要があります。サーバの電源コードを室内の壁面 AC コンセントに差し込む場合、各電源コードのアース線は、サーバに対してしか接地効果をもたらしません。ラックおよびラック内の他の装置にも適切な接地を施す必要があります。



注意：装置ラックに搭載する場合、サーバの動作温度を 5 °C (41 °F) ~ 35 °C (95 °F) に保つ必要があります。温度変化が大きいと、サーバに問題が生じることがあります。



注意：サーバの過熱を防ぐためには、装置ラックに搭載したサーバの前面に十分な通気が確保される必要があります。また、1 時間に最大 4,100 BTU (British Thermal Unit) の空気を排気できるだけの換気も必要です。サーバの使用環境に適したラックを選び、適切に換気を行ってください。

スライドレールキットを確認する



警告：梱包を解く際のけがを防ぐため、輸送用のパレットからサーバを持ち上げるには、必ず補助機器を使用してください。最小構成のサーバの重量は 26 kg (57 lbs)、最大構成のサーバの重量は 40 kg (88 lbs) です。電源装置のハンドルを持って、サーバを持ち上げたり動かしたりしないでください。サーバを別の場所に移動するときには、必ず手押し車またはその他の補助機器を使用してください。

スライドレールキットには、スライドレールアセンブリが2つ、EIA ブラケットが4つ、数個のネジ、ナット、ボルトが入っています。これらについては後述します。

図1のように、2つのスライドレールアセンブリはそれぞれ、内メンバ、中メンバ、外メンバという3つの可動部分で構成されています。

スライドレールキットにはEIA ブラケットが4つ入っていますが、そのうち2つのブラケットには、FL/RR というラベルが付いています。この2つのブラケットの一方は、スライドアセンブリの前面左 (FL) に取り付け、もう一方は背面右 (RR) に取り付けます。残りの2つのブラケットには、FR/RL というラベルが付いています。この2つのブラケットの一方はスライドアセンブリの前面右 (FR) に取り付け、もう一方は背面左 (RL) に取り付けます。スライドレールアセンブリのどの位置にブラケットを取り付けるかは、図1を参照してください。

各スライドレールアセンブリに付いているネジ、ロックナット、座金は、スライドレールをサーバに取り付けるためのものです。スライドレールをラックに固定するネジはユーザ側でご用意ください。

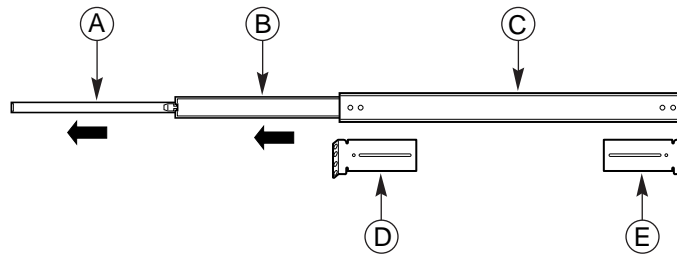


図1 完全に伸ばした状態のスライドアセンブリ

- | | |
|---------------|-----------------------------|
| A. 内メンバ | 内メンバは、スライドアセンブリで最も幅の狭い部分です。 |
| B. 中メンバ | 中メンバはスライドアセンブリの真ん中の部分です。 |
| C. 外メンバ | 外メンバは、スライドアセンブリで最も幅の広い部分です。 |
| D. 前面左用のブラケット | FL/RR というラベルが付いています。 |
| E. 背面左用のブラケット | FR/RL というラベルが付いています。 |

内メンバには安全ラッチが付いています (図2を参照)。スライドアセンブリを完全に伸ばさない限り、サーバをラックの内側や外側に移動できます。スライドアセンブリを完全に伸ばすと、ラッチによってアセンブリは完全に伸びた状態で固定されます。ラッチを押し込めば、スライドアセンブリから内メンバを取り外すことができます。

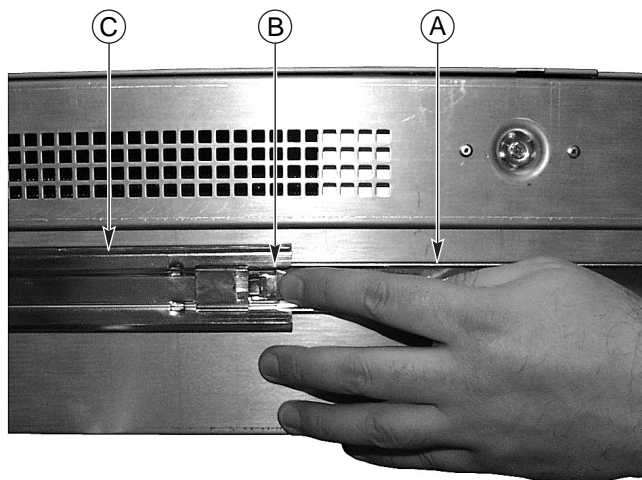


図2 安全ラッチ

- | | |
|----------|--------------------------------------------|
| A. 内メンバ | 内メンバは、スライドアセンブリの最も幅の狭い部分です。本体は内メンバに取り付けます。 |
| B. 安全ラッチ | 安全ラッチは内メンバに付いています。 |
| C. 中メンバ | 中メンバを内メンバの方に滑らせることができます。 |



警告：アンカを使用してラックを土台にしっかりと固定し、スライドアセンブリでサーバを引き出しても、ラック自体が前方へ倒れないようにしてください。アンカは最大113 kg (250 lbs) の力に耐えられなければなりません。ラックに他の装置が搭載されている場合は、その重量も考慮してください。



注意：本体をラックに搭載したら、ラックから本体を取り外す場合以外は、安全ラッチを押さないでください。安全ラッチの目的は、誤ってサーバがラックから滑り出さないようにすることです。

スライドアセンブリを準備する

次の手順で、スライドアセンブリの準備を行います。

1. キットからスライドアセンブリを取り出します。
2. スライドアセンブリの内メンバの中の安全ラッチが見えるように置きます。
3. 入れ子式のスライドアセンブリを完全に伸ばして、中メンバが内メンバの安全ラッチに当たるようにします。
4. 親指で安全ラッチを押します。中メンバから内メンバを引き出し、スライドアセンブリから内メンバを外します。
5. スライドアセンブリの中メンバと外メンバは脇に置いておきます。このスライドアセンブリは後で必要になります。

サーバを準備する

次の手順でサーバの準備を行います。

1. キットから、#10-32 x 1/4 の丸頭ネジを6つ取り出します。
2. ラッチが本体の後方にくるように内メンバを設置します。

図 3 は内メンバを本体に取り付けた状態を示しています (Aの部分が内メンバです)。この図を見ればわかるように、安全ラッチは本体の後方に設置されます。

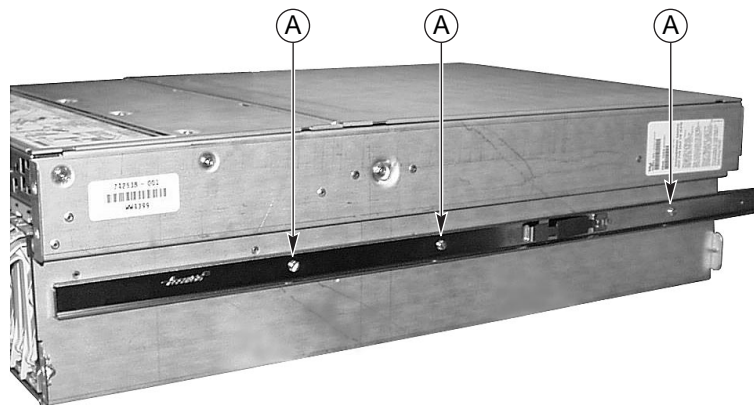


図3 本体に取り付けられた内メンバ

3. 内メンバの3つの穴を、本体側面のの3つの穴に合わせます。
4. ネジを内メンバの各穴に通して本体側面の穴に差し込み、締めます。
5. 2～4の手順で、2つめの内メンバを本体のもう片方の側面に取り付けます。

EIA レールブラケットを取り付ける

この時点で、内メンバはスライドアセンブリから取り外されています。スライドアセンブリは、中メンバと外メンバで構成されているはずですが、ブラケットの取り付け位置は図1を参照してください。

メモ：装置ラックの垂直レール上の取り付け穴は、一般的に、5/8 x 5/8 x 1/2インチの間隔で順番に配置されています。以下の手順を実行する際に、ブラケットの取り付け位置が不適切であると、次のサーバをラックに取り付けることができなくなるので注意してください。

前面側のブラケットを取り付ける

次の手順で、スライドアセンブリに前面側のブラケットを取り付けます。

1. キットから、#8-32 x 1/2の丸頭ネジ、座金、ロックナットを2つずつ取り出します。
2. 外メンバから中メンバを引き出し、外メンバの前方の端の穴が中メンバの四角い穴から見えるようにします。図5のBの方向に中メンバを引き出します。

FL/RRブラケットの方向とスライドレールアセンブリの伸ばし方は、図4を参照してください。

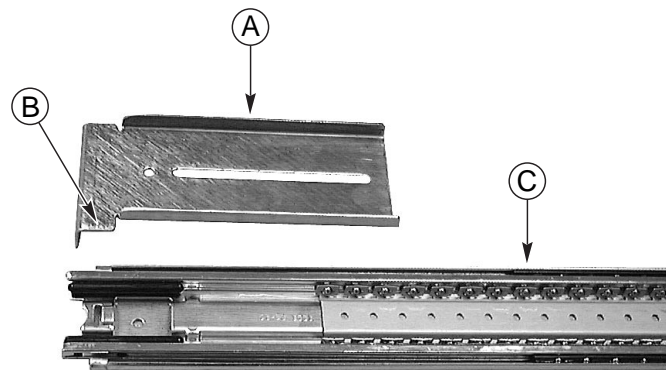


図4 FL/RRブラケットの方向

- | | |
|-------------------------|-----------------------------------------|
| A. 前面左用のブラケット | FL/RRというラベルが付いています。 |
| B. 下方タン | 図のように、ブラケットの安全ラッチの下方タンを正しい向きにします。 |
| C. 伸ばした状態の
スライドアセンブリ | 中メンバを引き出して、外メンバのネジ穴を中メンバの四角い穴の中央に合わせます。 |
3. FL/RRというラベルの付いたブラケットの1つを外メンバの外側にあてます。下方タンを正しい向きにしなければなりません。ブラケットの正しい向きは、図4のBに示されています。
 4. 中メンバの内側からネジを穴に通し、座金とロックナットを使用して締めます。図5のように、ネジ、座金、ロックナット、ブラケットを正しく合わせてください。

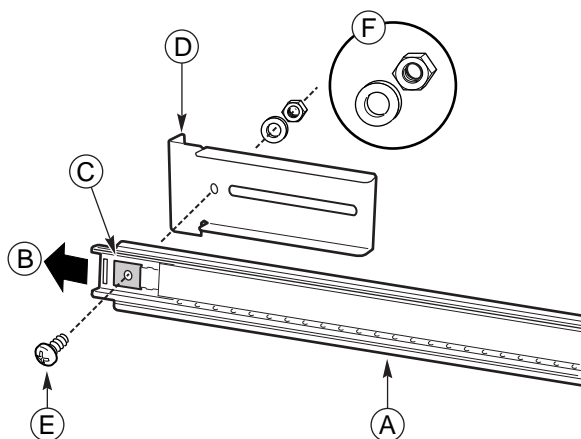


図5 ネジ、座金、ナット、ブラケット、スライドアセンブリの正しい合わせ方 (FL/RR)

- | | |
|----------------------------|----------------------------------------------------|
| A. 伸ばした状態のスライド
レールアセンブリ | 外メンバのネジ穴が中メンバの四角い穴の中央にくるまで、
スライドレールアセンブリを伸ばします。 |
| B. 引き出す方向 | 中メンバをこの方向に引き出します。 |
| C. 四角い穴 | 中メンバの四角い穴の中央にネジ穴を合わせます。 |
| D. 前面左用のブラケット | FL/RR のラベルが付いています。 |
| E. ネジ | ネジを使用して、ブラケットをスライドレールアセンブリに固定
します。 |
| F. 座金とロックナット | 座金とロックナットの正しい向きを示しています。 |



注意：作業を進める前に、前面側のブラケットに取り付けたネジがしっかり締められていることを確かめてください。ネジが緩んでいると、ラックに搭載したときにサーバの重量を支えることができません。

5. 締めたネジ上で中メンバを前後にすべらせながら動かします。中メンバがネジの上をすべらない場合は、ネジのサイズが正しいかどうか確認します。
6. もう一方のスライドアセンブリにも2～5の手順を行います。

背面側のブラケットを取り付ける

次の手順で、背面側のブラケットをスライドアセンブリに取り付けます。

1. キットから、#8-32 x 1/2の丸頭ネジ、座金、ロックナットを4つずつ取り出します。
2. 外メンバの背面側にネジを取り付けられるように、外メンバから中メンバを引き出します。図7のBに示されている方向に中メンバを引き出してください。スライドアセンブリの右側に、外メンバのネジ穴が3つ見えるはずですが。
3. FR/RLというラベルの付いたブラケットの1つを外メンバの外側に合わせます。ブラケットの下方タンを正しい向きにしなければなりません。図6のBに正しい向きが示されています。

FR/RLブラケットの向きおよびスライドレールアセンブリの伸ばし方は、図6を参照してください。

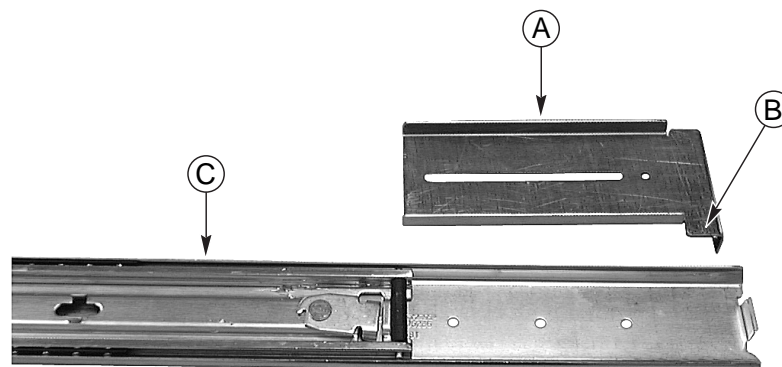


図6 FR/RL ブラケットの向き

- A. 背面左用のブラケット FR/RL というラベルが付いています。
- B. 下方タン 図のように、ブラケットの安全ラッチの下方タンを正しい向きにします。
- C. 伸ばした状態の
スライドアセンブリ 外メンバの3つのネジ穴が見えるように中メンバを引き出します。
4. ブラケットのスロットを外メンバの3つの穴に合わせます。ブラケットのスロットを通して外メンバの3つの穴すべてが見えるようにしてください。

5. 前面側の2つの穴に外メンバの内側からネジを通し、座金とロックナットを使用してゆるく締めます。図7のように、ネジ、座金、ロックナット、ブラケット、スライドアセンブリを正しく合わせてください。

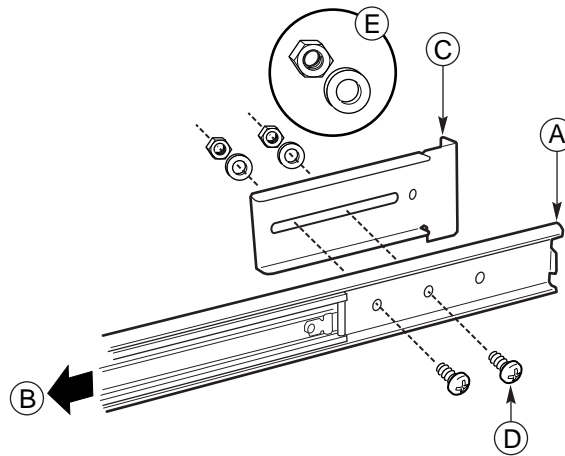


図7 ネジ、座金、ナット、ブラケット、スライドアセンブリの正しい合わせ方 (FR/RL)

- | | |
|------------------------|----------------------------------------------|
| A. 伸ばした状態のスライドレールアセンブリ | 外メンバの背面側部分にネジを取り付けられるように、スライドレールアセンブリを伸ばします。 |
| B. 引き出す方向 | この方向に中メンバを引き出します。 |
| C. 背面左用のブラケット | FR/RLのラベルが付いています。 |
| D. ネジ | 2つのネジを使用して、ブラケットをスライドレールアセンブリに取り付けます。 |
| E. 座金とロックナット | 各ネジの座金とロックナットの正しい取り付け方を示しています。 |
6. ブラケットを前後に滑らせながら動かします。ネジの締め方が固すぎるとブラケットは動きません。ブラケットが自由に動くことを確認します。
7. もう一方のスライドアセンブリにも2～6の手順を行います。

スライドアセンブリをラックに取り付ける

次の手順で、スライドアセンブリをラックに取り付けます。

1. ネジを8つ用意します。
2. スライドアセンブリをラックのどの穴に取り付けるか決めます。
3. 使用するラックの穴に、前面側のブラケットの穴を合わせます。

図8のように、ラックの穴とスライドアセンブリを合わせます。図のAが穴の位置です。

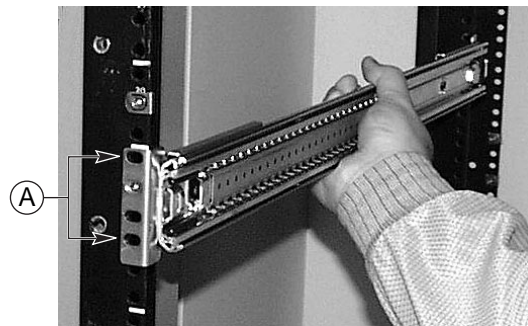


図8 ラックの穴とスライドアセンブリの合わせ方

4. 図8のように、前面側のブラケットとラックの穴に2つのネジを差し込みます。ネジを締め、スライドアセンブリの前面側をラックに固定します。
5. ラックの背面側垂直レールに、背面側のブラケットを合わせます。
6. 背面側のブラケットとラックの穴に2つのネジを差し込みます。ネジを締め、スライドアセンブリの背面側をラックに固定します。
7. スライドレールアセンブリを背面側のブラケットに固定している2つのネジを締めます。
8. もう一方のスライドアセンブリにも2～7の手順を行います。

本体をラックに設置する

補助機器を使ってサーバを持ち上げ、サーバに取り付けた内メンバとラックに取り付けたスライドアセンブリの位置を合わせます。本体を慎重にラックに押し込みます。ラックのスライドアセンブリに内メンバがなめらかに入るはずですが、

ハンドルを取り付ける

通常、ハンドルは本体に取り付けますが、ラックに取り付けることもできます。

1. 安全ラッチがかかるまで、本体をラックから引き出します。
2. 図9のように、ハンドルの内側の一番上と一番下の穴を本体の一番上と一番下の穴の位置に合わせます。

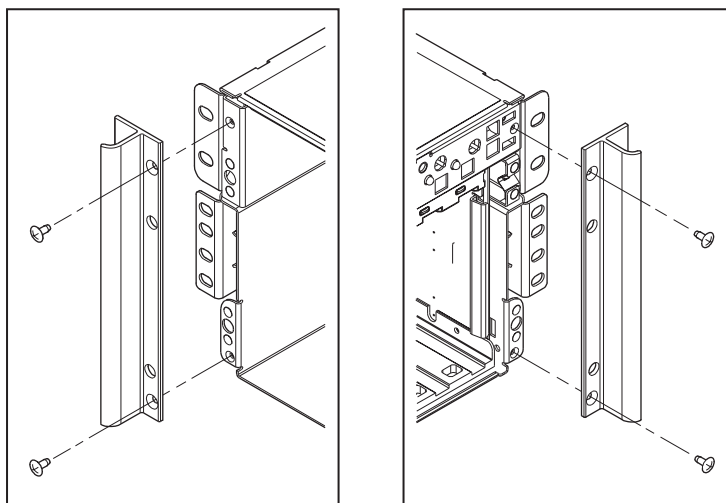


図9 本体とハンドルの位置合わせ

3. ハンドルの内側の一番上と一番下の穴にネジを差し込みます。両方のネジを締めて、ハンドルを本体に固定します。

4. ハンドルをラックに取り付ける場合は、ハンドルの外側の縁にある一番上の穴と一番下の穴にネジを差し込み、両方のネジを締めます。

フロントベゼルを本体に取り付ける

サーバの前面を保護するため、サーバの前面にベゼルを取り付けます。

1. 本体をラックから引き出し、安全ラッチが掛かっていることを確認します。
2. 本体の前面を覆うようにベゼルをかぶせて、ベゼルの縁と本体前面の縁を揃えます。ベゼルの裏側の爪がサーバ前面の穴の位置と合うはずです。
3. 慎重にフロントベゼルを本体に押しつけます。フロントベゼルが本体にはまります。

ラックからサーバを取り外す

ラックからサーバを取り外す手順は次のとおりです。

1. 両側の安全ラッチが掛かるまで、サーバを引き出します。
2. 補助機器をサーバの真下の位置に据えます。
3. 両側の安全ラッチを押しながら、本体をスライドアセンブリから引き出します。
4. 本体に合わせて、補助機器を動かします。

